

平成30年度島根大学大学院
教育学研究科入試問題（I期）

《臨床心理専攻》

外国語科目（英語）

注 意

- 1 問題紙は、指示があるまで開いてはならない。
- 2 問題紙 2枚、解答用紙 1枚、下書き用紙1枚である。

指示があつてから確認し、解答用紙と下書き用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。

- 3 解答は、解答用紙に清書すること。
- 4 問題紙は、持ち帰ること。

受験番号

《臨床心理専攻》

外国語科目（英語） 問題

下記の文章を読み、各問いに答えなさい。

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(英文出典) P. Hartwich, J. Fryrear (2002) Creativity: the Third Therapeutic Principle in Psychiatry. H. O. Thomashoff (ed.) *Human Art Project*. Schattauer.

問1 下線部(ア)の英文の大まかな趣旨としてもっとも適切なものを次から選び、番号で答えなさい

- ① ほとんど例外なく、誰もが創造的である。
- ② 本当に創造的な人は、わずかしかない。
- ③ 「誰もが創造的なんだ」と信じることはできない。
- ④ 誰もが自分は創造的になれると信じている。
- ⑤ 一部の例外を除けば、誰もが創造的というわけではない。

問2 全体の文意からすれば、下線部(イ)のような言葉が患者から発せられるとき、その患者の関心は、“X”ではなく“Y”にとらわれていると言える。このXについて4単語で、Yについて3単語で、本文中から抜き出ささい。

問3 下線部(ウ)を和訳しなさい

問4 下線部(エ)を和訳しなさい

問5 下線部(オ)の人々は、Creative therapyにどのような様子で臨んでいるか。日本語で説明しなさい。

問6 下線部(カ) (キ) (ク) (ケ)の疾患名をそれぞれ和訳しなさい。

問7 文意に照らし合わせると、フィンガーペインティングや粘土を用いない方がよいと考えられるのは、下線部(カ) (キ) (ク) (ケ)のうち、どれか。記号で答えなさい。